

こんにちは！

登別市社会福祉協議会（社協）です！

今月21日は、1年で最も夜が長い日「冬至（とうじ）」です。冬至は、風水的には「一陽来復」（いちようらいふく）とも呼ばれ、“運気がどんどん上がる強い力を持つ日”とされているそうです。

この日にゆず湯に入ったり、財布や通帳入れを買い換えたり、新しい手帳を使い始めると、金運がさらにあがるそうですよ！



あたまの体操

今回は「推理」です。

あなたは探偵です。探偵仲間から2枚の紙きれが届きました。
暗号を解いてください。

【1枚目】

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

【2枚目】

ら う かな す ん

1つ戻れ

裏面にあたまの体操の答えと今月のお知らせを掲載しています

歳末たすけあい募金運動が始まります

赤い羽根共同募金は、戦後まもない昭和２２年に市民主体の取り組みとしてスタートし、当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設の復旧支援等を中心に大きな役割を果たしました。現在では社会福祉法のもと、「住民相互のたすけあい」を基調とした、市民主体の共同募金運動としてそれぞれの時代ごとに必要とされる地域福祉活動を募金というかたちで支援しています。

また、12月1日（日）から赤い羽根共同募金運動の一環である歳末たすけあい運動がスタートします。

この運動は明治39年から始まり、地域で暮らす誰もが安心してあたたかいお正月を迎えることができるよう、地域住民やボランティア、NPO団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関や団体が行う様々な福祉活動を支援するための募金運動です。

近年はコロナ禍や物価高騰等の影響による生活困窮や社会的孤立の課題はますます複雑化・深刻化しており、その社会課題に向き合う取り組みへの支援が必要とされています。

登別市共同募金委員会では、市民一人ひとりの気持ちを直接反映させる仕組みとして、戸別募金（封筒募金）を推進しています。主旨をご理解のうえ、歳末たすけあい運動にご協力ください。

歳末たすけあい募金のつかいみち（一例）



ふれあい・いきいきサロンや
きずなのまちづくり助成事業などの
人と人とのきずなを深める活動



小地域ネットワーク活動や
まごころレターの配布などの
地域での見守り活動

【あたまの体操の答え】
それぞれの文字を五十音表の1つ前の文字に戻してみると...
「よいおとしを」

発行：登別市社会福祉協議会 登別市片倉町6丁目9番地1 電話 0143-88-0860



まごころレターは赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています

